

CO₂国内クレジット

三光 安来市に100tを寄贈

総合中間処理・リサイクル事業を展開する三光（鳥取県境港市、三輪陽通社長、☎0859・44・5367）は、島根県の安来市にCO₂排出削減に係る国内クレジット100tを寄贈した。8月18日、安来市役所で行われた贈呈式には近藤宏樹市長も出席、三輪社長から分割カーボンオフセット証書が手渡された。

三光は2007年4

月から安来市より一般家庭系可燃ごみ処理を委託され、江島工場（島根県松江市）の焼却プラントで受け入れてきた。

同工場では08年12月、焼却処理の際に発生する排熱を利用する小型蒸気発電機を導入。電力の削減事業で、廃棄物業界初の国内クレジット認証を受け



分割カーボンオフセット証書を近藤市長(左)に手渡す三輪社長(右)

た。09年度は合計211tの国内クレジット認証を受けている。安来市への贈呈のほか、一定の廃棄

物搬入量があり、環境自主行動計画に参加している顧客に対しても、廃棄物搬入量に応じたCO₂クレジットを配付していく方針だ。

同社は、潮見工場（鳥取県境港市）の焼却施設に今年導入した発電機でも国内クレジット認証を受けており、2工場合わせて年間500t程度のCO₂国内クレジット認証を受ける予定となっている。これらも全量、顧客への配付対象としていく。安来市では09年度、約4300tのCO₂排出量があり、贈呈された国内クレジットは約2%に相当する。